

# 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

会社名 チッソ株式会社 URL <http://www.chisso.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木庭 竜一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務部長 (氏名) 田村 秀人 (TEL) 03 (3243) 6375

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	95,898	△12.1	2,259	—	2,028	—	△2,105	—
2020年3月期第3四半期	109,112	△5.1	△778	—	△1,077	—	△8,614	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,444百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △8,639百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△13 52	—
2020年3月期第3四半期	△55 33	—

(参考) 持分法投資利益 2021年3月期第3四半期 464百万円 2020年3月期第3四半期 897百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	240,480	△132,353	△60.1	△927 67
2020年3月期	251,761	△130,788	△56.8	△918 29

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 △144,413百万円 2020年3月期 △142,960百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	0 00	0 00
2021年3月期	—	—	—		
2021年3月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	132,000	△8.9	100	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	156,279,375株	2020年3月期	156,279,375株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	605,504株	2020年3月期	598,862株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	155,677,482株	2020年3月期3Q	155,685,426株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. (要約) 四半期連結財務諸表	
(1) (要約) 四半期連結貸借対照表	4
(2) (要約) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(重要な後発事象)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 1) 業績全般

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続くなか、輸出や生産には持ち直しの動きがみられたものの、経済活動の段階的な再開に伴う感染症の再拡大が懸念されるなど、景気の先行きは不透明感が増す状況となりました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、収益体質の強化に向けた事業構造改革に取り組み、不採算事業の見直しや全社的なコスト削減等の施策を引き続き推進したほか、電力事業においては、F I T（再生可能エネルギー固定価格買取制度）活用に向けた水力発電所の改修計画を推進し、安定した収益基盤の確保に努めました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は95,898百万円（前年同四半期比12.1%減）、営業利益は2,259百万円（前年同四半期は営業損失778百万円）、経常利益は2,028百万円（前年同四半期は経常損失1,077百万円）となりました。特別利益に固定資産売却益174百万円等の合計297百万円を、特別損失に水俣病補償関係損失等（2020年4月1日から12月31日までの水俣病被害者への救済一時金2百万円を含む）2,293百万円、事業整理損358百万円、災害による損失323百万円の合計2,975百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,105百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失8,614百万円）となりました。

#### 2) セグメント別概況

##### ① 機能材料事業（液晶材料等）

液晶材料は、新型コロナウイルス感染症に起因する巣籠り需要が継続しており、足元では大型テレビやIT関連ディスプレイ用途を中心に販売は堅調となりましたが、第1四半期における需要減少の影響からの復調には至らず、売上は減少しました。シリコン製品は、コンタクトレンズ用途を中心に需要が好調に推移し、販売が増加しました。

有機EL材料においては、当社連結子会社であるJNC株式会社と韓国SK Materials社との間で、両社の共同出資による有機EL材料の製造、販売等を行う合弁会社を設立する旨の契約を2020年12月に締結しました。

当セグメントの売上高は18,288百万円（前年同四半期比22.6%減）となりました。

##### ② 加工品事業（繊維製品、肥料等）

繊維製品は、国内における除菌シート、マスク等の新型コロナウイルス感染症対策関連の需要が引き続き堅調に推移したことに加え、衛生材料向けの出荷が安定的に推移したことから、原綿及び不織布の販売が増加しました。

肥料は、施肥作業の省力化が評価されている被覆肥料の国内出荷が堅調となりましたが、顧客の在庫調整により化成肥料の出荷が低調となったほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて海外需要が落ち込み、売上は減少しました。

当セグメントの売上高は40,208百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

##### ③ 化学品事業（アルコール、樹脂等）

オキシアルコールは、原料ナフサ価格の下落により販売価格が低下したことに加え、生産設備の大型定期修理の実施により出荷が減少したことから、売上は低調となりました。一方、新型コロナウイルス感染症対策関連の需要が堅調となり、治療薬やワクチン製造向けに一部製品の販売が増加しました。

ポリプロピレンは、第1四半期において新型コロナウイルス感染症の影響により全般的に不振となったことから出荷が減少しましたが、足元では主力の自動車関連の需要が回復基調となりました。ポリエチレンは、主にレジ袋有料化の影響によりフィルム用途の需要が減少したことから、出荷が減少しました。

当セグメントの売上高は14,935百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。

④ 商事事業

商事事業は、主力のポリプロピレンの販売において化学品事業と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、出荷が低調となったことから、売上は減少しました。

当セグメントの売上高は13,001百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。

⑤ 電力事業

電力事業は、F I T活用に向けた既存水力発電所の大規模改修工事を引き続き推進し、安定した収益基盤の強化に注力しました。また、一部の水力発電所においては、「令和2年7月豪雨」による被害から完全復旧に至らず低稼働運転となりましたが、その他の各発電所は順調に稼働しました。

当セグメントの売上高は5,445百万円（前年同四半期比22.8%増）となりました。

⑥ その他事業（エンジニアリング等）

エンジニアリング事業は、前年同四半期に石油化学関連設備に係る大型案件の進捗があった反動により、売上は減少しましたが、新規案件の受注は好調に推移しました。

当セグメントの売上高は4,019百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ11,280百万円減少し、240,480百万円となりました。これは主に、未収入金の減少と現金及び預金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ9,715百万円減少し、372,834百万円となりました。これは主に、未払金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ1,565百万円減少し、△132,353百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年11月12日に公表しました業績予想から変更しておりません。

なお、通期（連結・個別）の当期純利益につきましては、水俣病関連損失の予想が困難であることから、引き続き未定としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期連結 会計期間 (2020年12月31日)	前連結会計年度 (2020年3月31日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率
(資産の部)				
I 流動資産	107,403	119,957	△12,554	△ 10.5%
II 固定資産	132,840	131,372	1,467	1.1%
III 繰延資産	237	431	△194	△ 45.0%
資産合計	240,480	251,761	△11,280	△ 4.5%
(負債の部)				
I 流動負債	97,459	103,962	△6,503	△ 6.3%
II 固定負債	275,374	278,587	△3,212	△ 1.2%
負債合計	372,834	382,549	△9,715	△ 2.5%
(純資産の部)				
I 株主資本	△155,542	△153,769	△1,772	-
II その他の包括利益	11,129	10,808	320	3.0%
III 非支配株主持分	12,059	12,172	△112	△ 0.9%
純資産合計	△132,353	△130,788	△1,565	-
負債、純資産合計	240,480	251,761	△11,280	△ 4.5%

(2) (要約) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期連結 累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前第3四半期連結 累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増 減		(参考) 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	95,898	109,112	△13,213	△ 12.1%	144,852
II 売上原価	75,989	90,515	△14,526	△ 16.0%	119,463
売上総利益	19,909	18,597	1,312	7.1%	25,388
III 販売費及び 一般管理費	17,650	19,376	△1,725	△ 8.9%	26,148
営業利益又は営業損失(△)	2,259	△778	3,038	-	△ 759
IV 営業外収益	1,267	1,722	△454	△ 26.4%	2,284
V 営業外費用	1,498	2,020	△522	△ 25.9%	2,810
経常利益又は経常損失(△)	2,028	△1,077	3,106	-	△ 1,285
VI 特別利益	297	89	208	233.9%	172
VII 特別損失	2,975	6,323	△3,348	△ 52.9%	8,541
税金等調整前四半期純損失(△)	△650	△7,312	6,662	-	△ 9,654
税金費用	1,116	902	214	23.7%	1,491
四半期純損失(△)	△1,767	△8,215	6,448	-	△ 11,146
非支配株主に帰属する四半期純利益	338	398	△60	△ 15.1%	760
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,105	△8,614	6,508	-	△ 11,906

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期連結 累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前第3四半期連結 累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増 減		(参考) 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	金額	金額	金額	増減率	金額
四半期純損失(△)	△1,767	△8,215	6,448	-	△ 11,146
その他の包括利益					
その他有価証券評価差額金	60	123	△62	△ 50.8%	56
為替換算調整額	301	△325	626	-	△ 651
退職給付に係る調整額	116	△32	148	-	305
持分法適用会社に対する持分相当額	△156	△189	33	-	△ 166
その他の包括利益合計	322	△424	746	-	△ 456
四半期包括利益	△1,444	△8,639	7,194	-	△ 11,603

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	△1,785	△9,038	△ 12,372
非支配株主に係る四半期包括利益	340	398	769

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結会計期間より、重要性の増したJNCセントラル(株)を持分法適用の範囲に含めております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、株主資本が332百万円増加し、当第3四半期連結会計期間において株主資本が△155,542百万円となっております。

(追加情報)

「令和2年7月豪雨」の影響について

2020年7月に発生した九州地方の大雨の影響により、当社グループが保有する水力発電所の一部が被災し運転を停止しておりましたが、2020年8月中旬までに全発電所の運転を再開しました。しかし、一部の発電所では完全復旧に至らず低稼働となっており、この発電所に関する固定費(主として人件費、減価償却費)のうち、異常な状態を原因とする部分を災害による損失として特別損失に計上しております。

なお、復旧費用等については現在算定を進めておりますが、その影響を合理的に算定することが困難であることから、当四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(重要な後発事象)

事業譲渡契約について

当社の連結子会社である市原ソーラー合同会社は、2021年1月26日付けで、同社の太陽光発電事業を日立グリーンエナジー株式会社に事業譲渡することについて総社員の同意を得ました。

(1) 当該連結子会社の名称、住所及び代表取締役の氏名

名称	市原ソーラー合同会社
住所	千葉県市原市五井中央西1丁目14番地22
代表者の氏名	代表社員 千葉ファインケミカル株式会社 職務執行者 白石 武

(2) 当該事業の譲渡先の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

名称 日立グリーンエナジー株式会社  
住所 東京都港区西新橋一丁目3番1号  
代表者の氏名 代表取締役社長 大嶋秀明  
資本金 3百万円  
事業の内容 太陽光発電事業を中心とした発電事業

(3) 当該事業の譲渡の目的

当社グループの資産の効率的活用を図るため、市原ソーラー合同会社が所有する潤井戸太陽光発電所に関する事業を日立グリーンエナジー株式会社に事業譲渡するものであります。

(4) 当該事業の譲渡契約の内容

①事業対象事業

潤井戸太陽光発電所に関する設備及び電力受給に係る契約当事者の地位等

②事業譲渡の日程

2021年2月 契約締結日（予定）

2021年3月1日 事業譲渡日（予定）

③事業譲渡価額

事業譲渡価額は現時点で未定であります。